

事業番号	15 04 13	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援学校就労支援総合事業費				担当課	部局	教育委員会事務局
総合5か年計画	プロジェクト	8-1-4 教育再生、5-4-3 雇用・社会参加促進			課・室	特別支援教育課	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実			E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp	
		5 すべての子どもの学びを保障する支援			実施期間	不明 ~	

1 事業の概要

目指す姿	特別支援学校生徒の地域での社会自立や職業自立を進めるために、社会生活や職業生活に必要な能力や態度を育てるとともに、将来の就労につながる現場実習先事業所数の拡大、職場体験実習の推進を図りながら、適切な進路指導を目指す。 成果目標：一般企業等産業現場における実習を行った生徒が実際に一般就労した割合 58.2%(H25)→65.0%(H29)	
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 産業現場等の実習で、企業実習を希望する生徒が自分の希望する産業現場に行くことができず、就労に自信がもてないため、生徒個々の「働く力」が企業等で十分に生かされていない。 地元企業のニーズの把握や企業との交渉に関して能力をもった人材が学校現場にいない。 	

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施： 検討中	特別支援学校高等部学習指導要領

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)					
	産業現場で実習を行った生徒が一般就労した割合 61%(前年度目標比+1%)					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績	H27(当初)	H27(決算)	H28(当初)
	関係機関と連携した実習先の拡充と新たな雇用の場の創出	直接	ハローワーク・求人開拓員・就業支援ワーカーとの連携			
	企業への理解啓発の推進	直接	・県経営者協会、中小企業中央会等との連携 ・長野労働局・職業安定所と連携した就労セミナーの開催			
産業現場等における実習事業	直接	・民間企業等の協力を得て、現場実習の実施 高等部生徒の現場実習(1年後期、2・3年前期・後期)	3,402	3,161	3,402	
松本ろう学校における職業教育の推進	直接	・聴覚障がい者が専門的知識・技能を身につけて職業自立、社会自立するため、専攻科に実習用パソコン等を配置し、職業教育を実施	1,892	1,892	0	
就労コーディネーターの配置	直接	県内4地区に配置し実習及び就労の企業開拓及び企業対象の学校見学会の企画運営	9,512	8,403	9,696	
合計			14,806	13,456	13,098	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		当初予算	5,242	5,294	14,806	13,098			目標	成果	達成状況	
		補正予算					一般企業で実習をした生徒が実際に就労した割合	60.32%	61.00%	62.1%	達成	62.3%
		合計(A)	5,242	5,294	14,806	13,098						
	Aの財源	一般財源	5,242	5,294	14,768	13,060						
		県債										
		国庫支出金										
		その他	0	0	38	38						
	決算額(B)	4,865	3,080	13,456								
概算人件費	職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30							
	概算人件費(C)	2,477	2,477	2,483	2,483							
概算事業費(B(A)+C)	7,342	5,557	15,939	2,483								

目標に対する成果の状況	就労コーディネーターが新規に272社を開拓し、生徒の適性とマッチングさせたうえで実習を行うことができたため、企業で実習を行った生徒が就労に結びついた割合は高くなった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 企業就労を目指す高等部生が、自分の力を確認するとともに具体的に卒業後の生活を考えるために、産業現場等の実習期間に職種や職場環境を生徒が納得して選んだうえで実習を始められるように多くの企業との接点をつくる。企業の実習への負担感を減らすため、就労コーディネーターが企業訪問をする際に、学校が具体的な実習場面や仕事を提案する。実習の受け入れについて就労コーディネーターが具体的にサポートし、これまで実習を受け入れていない企業に実習を受け入れてもらえることを目指したい。
--------------------	--